

国生み神話の島

淡路島

沼島

ぬしま



ぬしま
くにうみ



鞘型褶曲(さやかたしゅうきょく)
1億年前の地球のシワがある



昭和33年に沼島西方約3海里の海上で起った「南海丸」の転覆事故を契機に、紀伊水道と大阪湾との間、本州と四国の間を航行する船舶の安全を守るため、昭和36年1月に点灯された。

- 島内1周コース
- 八十八ヶ所霊場巡りコース
- 上立神岩コース
- おすすめ2時間コース
- ▣ あずまや(休憩場)

この地方では、磯のことを「ハエ・バエ」と呼び、波に削られた奇石、怪石にはユニークな名前がつけられています。

ぜひお立ち寄りください!
沼島総合観光案内所 吉甚
ぬしまそうごうかんこうあんないしょ よしじん



沼島へお越しいただいた方や島民のぐつろぎの場として総合観光案内所が平成25年6月にオープンしました。沼島の観光情報の発信や漁船で島を周遊する「おのころクルーズ」の予約受付のほか、店内にて喫茶、土産品販売等を行っています。

南あわじ市沼島2400 TEL.0799-57-0777

営業時間 9:30~16:00 (※不定休)

<http://nushima-yoshijin.jp/>

沼島のお魚 干物販売
沼島漁業協同組合
ぬしまぎょぎょうどうくみあい



沼島で水揚げされた新鮮な魚を干物にして販売しています。干物の種類は時期によって異なりますが、「カマス(ひらき)」「小アジ(丸干し)」「ベタガレイ」「さより(丸干し)」などがあり、お電話でのご注文も承ります。

TEL.0799-57-0246 FAX.0799-57-0046

<http://jf-nushima.or.jp/>

海上周遊マップ

島の周囲の奇岩を漁船で巡る「おのころクルーズ」をご利用ください。
(事前の予約受付は沼島総合観光案内所 吉甚まで)

旧水ノ浦



シロエモンノ鼻



沼島海水浴場

ノダラ

●古水浦

赤猫(化け猫)伝説が残される浜。

水谷

中瀬ノ鼻
(三ヶ崎)

屋形ハエ

●青磯

全体が青く、沼島で最も大きな岩。

●鏡浦

この浜に、鏡のように光る巨石があったと伝わる。

●下立神岩



仏堂(ホトケドウ)

岸ノ海

崩壊前の下立神岩

昔は上立神岩より高かったが、安政大地震により中程から折れたと伝えられる。岩の中心付近に穴があく珍しい形状であったが、昭和9年の室戸台風により破壊され、現在では赤線より下の巨大な根っこ部分だけが残されている。

●穴口

古事記神話にある黄泉への入り口のモデルともいわれる。又、この穴は東区の觀音堂の裏に通じているという伝説がある。



●鞘型褶曲

(さやがたしゅうきょく)

1億年前の地球のシワ

大ハエ

●薬師浦

昔、疫病が流行した折、この浜附近に生えていた薬草を用いて島民が救われたという伝説がある。

●殿飛

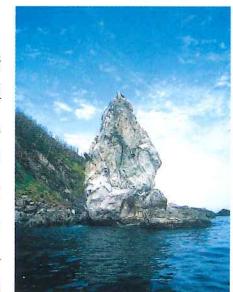
天正9年(1581)織田信長配下の三好氏の襲撃を受け、敗れた沼島城主の梶原秀景は、この断崖から馬もろとも入水し最後を遂げたという伝説が残される。今でも時折馬のいななく声が聞こえると伝えられる。

●猩々(ショウジョウ)バエ

昔、漁師の三郎太夫がこの磯で猩々と出会う。酒を求められたので与えると猩々は喜び、金は家に置いておくといつて姿を消す。そのお金はいくら使っても減ることがなく、代々家が栄えたという伝説が残る磯。

●上立神岩

高さ約30mを誇る巨岩。その形状から、国生み神話にある天の沼矛のモデルとも、天の御柱のモデルともいわれる。最近では中心にある♥マークが有名で、恋愛成就のパワースポットとして訪れる人が増えている。



●平バエ



竜宮の屋根に例えられる神聖な岩。旧暦3月3日には漁船が大漁旗を立てて集結し、平バエ祭りが行われる。国生み神話の八尋殿(ヤヒロドノ)のモデルともいわれる。

中島地図マップ



時刻表(沼島～淡路島土生) 所要時間一約10分

■灘線(しまかぜ、しまちどり)

便名	往	復
便名	沼島発	土生着
1	6:20	6:30
2	7:25	7:35
3	8:30	8:40
4	9:50	10:00
5	11:20	11:30
6	13:20	13:30
7	14:40	14:50
8	15:50	16:00
9	17:40	17:50
10	18:30	18:40

便名	往	復
便名	土生発	沼島着
1	7:00	7:10
2	7:50	8:00
3	9:00	9:10
4	10:30	10:40
5	11:55	12:05
6	13:50	14:00
7	15:10	15:20
8	16:30	16:40
9	18:05	18:15
10	19:00	19:10

料金表 (団体割引 15人以上)

	大人	小人
灘 線 (沼島⇒土生)	片道	240円
	往復	470円

※駐車場は土生港(灘ターミナルセンター)の
駐車場(1日500円)をご利用ください。

沼島汽船 TEL.0799-57-0008

国生み伝説と沼島

～記紀神話から～ 神代の昔、まだ天と地がわかれたばかりで、日本の国土が生まれる遙か前のこと、天上は高天原と呼ばれていた。

ある時、そこに住まわれる神々が相談し、国をつくることになった。神々は、その役割をイザナギの命とイザナミの命に託し、国生みの道具として、「天の沼矛」という神聖な矛を受けた。二神は天の浮橋に立ち、そこから沼矛を下界にさし入れ、「コヲロ、コヲロ」とかき混ぜ引き上げると、矛の先からシオがしたたり落ち、それが重なり積もって島となった。この神聖な島を「オノゴロ島（おのころ島）」という。

二神は、この「おのころ島」に降り立ち、夫婦となって日本の国土を造られ、たくさんの神々を生みだすのである。

この島の候補地は日本各地に数多く存在するが、沼島はその中でも「聖地・おのころ島」の最有力候補地だとされている。

鞘型褶曲（サヤガタシユウキョク）

平成6年に発見された、1億年前の地球のシワに例えられる、同心円構造（金太郎飴構造）の珍しい岩石。鞘型褶曲でこの規模のものは、ここ以外ではフランスで1ヵ所発見さ



れているだけで、地殻変動の歴史を知るために世界的に貴重な資料となっている。
(見学には、チャーター船が必要)

島内1周ウォーキング《約4時間》

沼島の周遊道路は約7.9km。道はほぼ全区間舗装されていて歩きやすい。道端の草も刈られているので、2人が楽に並んで歩ける程度の道幅がある。分岐点には立札が出ているため道に迷う心配はなく、標高差80mほどの急坂が上り・下り合わせて4ヶ所ある。途中休憩をはさんで約4時間で1周できる。コースとしては家族向けからやや健脚向け。尾根の部分を歩く



ので日陰が少なく、帽子が必要。沼島汽船発着場からスタートして歩き始めるとトイレや水飲み場がないのでご注意を!

沼島八十八ヶ所霊場巡り

明治時代、戦争や伝染病で多くの人が亡くなり、その慰靈のため島内の八十八ヶ所（左記地図①～⑧）にお地蔵様が祀られた。お地蔵様には、四国八十八ヶ所と同じ札所名がつけられ、ほぼ島内一周コース上に点在している。気をつけて歩いてみると、あちらこちらで路傍にひっそり佇む姿が見られる。一番は神宮寺境内にある。



おすすめ2時間コース

スタート 地点の沼島汽船発着場から A

地点のおのころ神社までは約25分。神社へは、100段ほどの階段を上ります。

A 地点 B 地点までは約12分。この間は道が舗装されており、アッパダウンがあります。

B 地点 には標識あり。**B 地点**から **C 地点**までは約12分。見晴らしの良い高台にたどり着きます。

C 地点から **D 地点**まで約8分。 **D 地点**は、おすすめの絶景ポイントです。向かいに紀州半島が一望でき、目前には上立神岩を見ることが出来ます。

D 地点から **E 地点**までは約12分。**E 地点**にはあずまやがありちょっと休憩でも。**E 地点**から **F 地点**までは約10分。

この間には急な下り坂になっています。**F 地点**には標識あり。**F 地点**から **スタート** 地点へは、約25分。緩やかな下り坂です。

おのころ神社

小高い山の上、まるで天に届くかのようなまっすぐな階段を上ると、おのころ神社に到着する。国生み神話で有名な、イザナギ・イザナミの二神を祀っているが、元々山自体が御神体で、地元では「おのころさん」と呼ばれ親しまれている。

神宮寺

真言宗の寺院で元慶4年（880年）の開基。梶原氏の菩提寺であり、紺紙金銀字入大乗論、種子尊勝法華曼荼羅など数々の宝物が寄進され、伝えられている。

沼島八幡宮

永享8年（1436年）梶原俊景による創建。神社背後には存在感溢れる原生林が残され、拝殿天井には珍しい逆羅針盤が奉納されている。5月3・4日にダンジリが海に入る事で有名な春祭りが行われる。

梶原五輪塔（梶原景時の墓）

松香石という特殊な石でつくられており、鎌倉初期の建立。梶原景時の墓と伝えられる。

山ノ大神社

大漁・商売繁盛を祈願する神で、参道には小さな鳥居がびっしりと続く。正式名称は鐵王稻荷神社。地元では山の神さんと呼ばれ親しまれている。

ハエ・バエ（岩礁）

沼島の裏海岸では、国生み神話のモデルといわれる奇岩を見ることができる。その象徴が天の御柱に例えられる上立神岩。高さ30mの岩が直立して伸びる。下手に昭和9年の倒壊まで中程に穴があいていた下立神岩。これら男女を象徴する一対の立神岩。その中間に位置する平バ



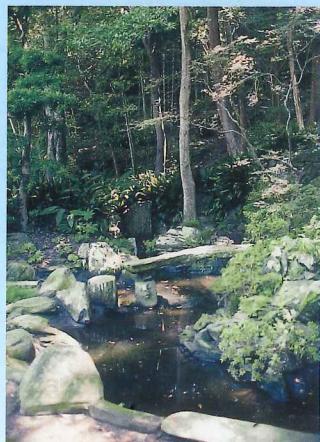
エはニ神の契りの場、八尋殿（ヤヒロドノ）のモデルともいわれる。



上立神岩

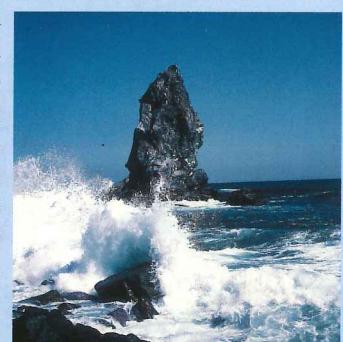
沼島庭園（伊藤邸の庭）

室町幕府10代将軍、足利義満がつくりさせたと伝えられる、県内最古級の池泉観賞式庭園。背後にある王の森を風景に取り込みながら、沼島の特徴である緑色片岩や黒色片岩を利用した、力強い石組みが施されたこの庭は立体感に溢れ、高い評価を受けている。



上立神岩コース《約1時間》

島の中央を横断する道路を上りきり、急坂を下ると、短時間で、高さ30mを誇る上立神岩の勇壮で美しい姿を見ることができる。この岩は天の御柱であるとも竜宮の表門であるとも伝えられる奇岩で、打ち寄せる波の豪快さは必見。



あわじ環境未来島構想推進事業
ふるさと自立計画推進モデル事業
国生みツーリズム実行委員会